

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 第21回公民館全国セミナー参加報告

4.5

- 2 トピックス 第3回理事会・第2回評議員会開催
- 3 視点 公民館職員に期待する～もう一度初心に～
- 3 ひろば 心に残る買物
- 6 実践記録シリーズ 素材を生かした料理教室
- 7 サークル交流 楽しさが実を結ぶ書道会（柏崎市）/生きがいの盆栽サークル（出雲崎町）
- 7 素顔拝見 坂井 寧さん（三条市）/茂木 寛幸さん（刈羽村）



聖山大学37期生
卒業記念作品を作りました
～「びいどろ」にて～
聖籠町

表紙解説

高齢者学級「聖山大学」では、3月の卒業を控え、一年間培った思いを込めてガラス作品作りに挑みました。



平成22年度 新潟県公民館連合会基本方針・事業計画(案)

基本方針

県内の市町村合併も長岡市、川口町の合併で終了し、30市町村に收れんされました。

県内の公民館では、市民センターやコミュニティセンター的機能の導入等により、多機能・複合化の動きが出ており、そして当県公連では、新潟県町村職員退職手当組合の解散に伴う脱退精算負担金の返済という重要な問題に対応し、7年目を迎えております。

このような厳しい社会情勢の中にあって、公民館の役割や存在意義が改めて問われている今日、新潟県公民館連合会では、急速に進む高度情報化、国際化や少子高齢化、地域住民の価値観の多様化、到来した団塊世代への対応等を含めて、これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、対応せざるを得ない状況にあります。

また今年度は、新潟県公民館連合会創立60周年（昭和25年5月創立）を迎えます。

そこで、その記念事業の実施に入るとともに、さらに、公民館が生涯学習推進の中核施設として学びの拠点、地域づくり・人づくりの拠点として一層重要な役割を果たすため、各行政機関・組織と連携し、地域住民の理解・協力を得ながら、次の6点を重点施策として取り組む所存です。

- (1)関係上部組織とのより一層の連携強化
- (2)職員の資質向上を図る研修事業の実施
- (3)情報提供事業の充実・拡大
- (4)事業の自己評価
- (5)財政基盤の強化（自主財源確立への努力）
- (6)県公連創立60周年記念事業の実施



第3回理事会・第2回評議員会開催

22年度基本方針・事業概要決定

案、第62回新潟県公民館大会
開催地の確認、社会教育機

目標・事業計画概要案について
ついて

去る2月22日（月）午後、
新潟県建設会館で第3回理事
会、第2回評議員会が開催さ
れた。

理事会では、今年度の会務
報告・収支決算見込み、22年
度の基本方針・重点目標・事
業計画概要案、同収支予算案、
第61回新潟県公民館大会開催

案、第62回新潟県公民館大会
開催地の確認、社会教育機
関・団体との連携事業、運動
協力について協議された。
引き続いだ行なわれた第2回
評議員会では、理事会で整理
された案について協議し、原
案通り承認された。

1 新年度の基本方針・重点

案、第61回新潟県公民館大会
開催地の確認、社会教育機
関・団体との連携事業、運動
協力について協議された。
引き続いだ行なわれた第2回
評議員会では、理事会で整理
された案について協議し、原
案通り承認された。

左掲のとおり

2 第61回新潟県公民館大会
開催について

この大会は、県公連創立60
周年式典も兼ねて行なう大会で
もあり、記念表彰、記念講演
等も企画されている。詳細に
ついては、平成22年度第1回
理事会、評議員会で、新潟市
から提案される予定。

平成22年7月16日（金）、
新潟市北区文化会館で開催予

3 定
第62回新潟県公民館大会
開催地の確認

久しづりに海を渡り、佐渡
市での開催予定

4 社会教育機関・団体との
連携協力

直接関わりのない新潟県暴
走族対策連絡協議会からの退
会と、新たにいじめ根絶にい
がた県民会議への協力を強化
することとなつた。

5 公民館総合補償制度

いったん閉会した後、エ
コー保険サービス株式会社よ
り約30分にわたり具体的な説
明がなされた。

BOOKS INFORMATION

自主財源確立のためには

「新潟県公民館月報」の自主購読推奨

公民館月報（個人購読大歓迎） 定価1部150円 テ共・年極 1,800円

申込先 〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073

セミナー参加報告



上越市立公民館
主任 野坂 公子

●2日目午後：講義「いまさら聞けない公民館の常識力養成講座」

・宇都宮大学生涯学習研究センター教授

廣瀬 隆人氏

・大阪府貝塚市立中央公民館館長 岡野 智子氏

公民館は課題を解決するために「現代的課題」を学ぶということがよく言われるが、そんなことで人が集まるわけがない、「趣味・教養」の講座がだめだということはない、とお聞きして目から鱗の思いでした。地方分権、市町村合併が進み行政は「市民との協働」という言葉をよく使うが、裏を返せば「自分たちでできることは自分たちでやってください」ということです。公民館は、皆で何かをやるという経験をたくさん積ませることで、グループになりやすい人をつくります。「趣味・教養」で人を公民館に集めて、現代的課題で公民館から出す、課題を自分たちで気づき、自分たちでやろうとするようにする、でも公民館は中身がスカスカだから原点に戻って、瘦せても枯れても何でも講座にして人を集めて、とにかく組織化・グループ化することが大事であると力説されました。そして講座内容も、参加者の満足度や完成度が高いとグループ化になりにくいが、怒らせたり、不満だったり、もうちょっと学びたい、という内容だと自分たちで何かしようというきっかけになる、ということにも、これまでの自分の考え方とは全く違うもので大変参考になりました。

●3日目：シンポジウム「公民館評価について考える」

フリーアナウンサーの村松真貴子氏の進行のも

と、公民館の置かれている状況と公民館評価についてのシンポジウムが行われました。全公連事務局長の石川正夫氏からは、公民館評価がなぜ必要なのかを、法令に基づきながら説明いただきました。また、N P O 法人教育支援協会代表理事の吉田博彦氏からは、「評価」というのは難しいが、問題なのは評価の基軸が正しいか？ということであり、評価の内容は妥当かが重要である、最初から難しいと言わないでほしい、というお話がありました。評価の方法は数値だけではなく、課題が出てきたら工夫しようという気持ちが出るから、妥当性とはより良いものをを目指すものであり、何を変えたか？ということがとても大切である、とのことでした。公民館の評価というと参加者数が数値の基準になりがちですが、その講座をやることによって何が変わったのか、ということを大事にしてほしいとお聞きし、これまで数字だけで評価しようとしてきた考えを改めなければいけないと感じました。また、魚津市長の澤崎義敬氏は、市長選挙の公約に「公民館を中心としたまちづくり」を掲げた方であり、公民館評価はマニュアル通りではなく、地元のことをどう見るかが大事であり、災害などいざという時には地域の結束力が役に立つ、他の地域に負けないという競争力をつける、公民館はそういう時に核になるのだという力強いお話を聞き、参加者一同感銘を受けました。

教育委員会事務局や公民館で勤務して9年が経ちましたが、自分が考えていた公民館像や事業について新たな発見がたくさんあり、今後の講座作りに非常に参考になりました。また、全国各地からの公民館関係者の皆さんと交流でき、ネットワークができたことも大きな収穫でした。参加させていただきありがとうございました。

第21回 国王の胸騒ぎ

「肯定的相互性」是美聯社傳媒的一大特色，公民輿論員之間的討論也十分熱烈。《人民公報》力主徹查「老虎」，但《明報》卻主張「老虎」應該受到法律的保護。

「公民館」力為最近的動向」
・下田 力（文部科學省生涯教育局地域・學
校支援推進室）
平成22年度から新規実施する「社会教育」
地域の教育力強化計画における「事業認定」
まち、今後、公民館・図書館・博物館などの社会
教育施設開拓センターにて、地域の様な公團
・团体等との連携・協力が重要な点になります。
○普及効果。

「大人気の内緒話」（著者：大久保） 翻訳：D.C. Hulse
社会教育主事・立教大学講師 正（足立区）

事業企画の基本となる、現状と要・これまでの
分析整理のためのための事実を立てます。そのために、現
状を把握するための調査が必要になります。また、事
業企画を行うための調査が必ず必要になります。また、事

※今回の全国七十社、隠蓑社加之、全國の社
会教育開拓者の方々情報交換するところ
大変有意味である。公民館1年目の私達、ま
たまた地盤不足だから懸念されることが多い、
今後は必ず問題となる事多々ある。
※以上が本日の研修会の大要。

平成22年1月27日㈬の3日間、国立才媛・
乙原多紀子・青少年部会女子会（東京都）で
行われた第21回公演録全国大会。北陸北海道、南
信濃親切会、全国から74名の公演録係員が集
まり、乙丸加久子の公演録の力方に、事業の企画・



王事 近隸 品子

卷之三

実践記録

シリーズ

144

素材を生かした料理教室

佐渡市教育委員会生涯学習課社会教育係主事 駒形 崇史

● 素材を生かした料理教室の概要

今年で2年目となるこの教室は、一昨年まで開講していた「郷土料理教室」終了後、料理教室を再度開講して欲しいという大勢の方々の要望から、社会通信教育協会人材バンクに登録されている、生涯学習インストラクターの高野久恵先生にお願いし、先生の卓越した味覚・嗅覚で、素材そのものが持つ特性・味・香を旬な食材を使い、毎回先生が考えたメニューを元に調理し、皆で試食するという内容で進めました。

「素材を生かす」、あえてこの「生かす」を使うというネーミングにも先生のこだわりがあり、普段家庭の料理では、味付けが濃かったり、化学調味料を使ったり、また素材の扱い方が間違いがちな部分を、この教室では、薄味で、余計なものを使わなくても、素材そのもので充分おいしい料理ができるなどを教えてくれました。

初回の教室では、まず先生が特性のスープを持参してくださり、受講生皆で味わいます。深くコクのあるその味のスープは何で作られているか、皆で材料を当てます。簡単そうで全てを当てることはなかなか困難ですが、市販のスープの素に頼らず、それ以上の美味しさに受講生皆感動しました。

美味しいおまけに、余計なものが入っていないので、安心で体に優しい。まさに健康は食からという、食べることの原点を同時に教えてもらえる…そんな教室でした。



● 活動内容

平成21年度分をご紹介します。

開催日	メニュー
H21. 7. 3	・トマトと卵のスープ ・新じゃがいものごまボール ・レタスと鶏ささみのサラダ
H21. 7.17	・イカと野菜のマリネ ・魚のソテートマトソース添え ・冷やしスパゲティトマトソース

H21. 9. 4	・厚揚げとビーマンのオイスタークリームソース炒め ・きのこのサンラータン ・もやしのごま酢和え
H21. 9.18	・さんまの香味焼き ・ミックスビーンズと根野菜のサラダ ・わかめのスープ
H21.10.16	・鮭のワイン蒸しクリームソース ・かぼちゃのボタージュ ・きのこのソテー ・キャベツのさっぱりサラダ
H21.10.23	・錦卵 ・ナツツごまめ ・きんぴら煮しめ ・豆腐としめじのすまし汁
H21.11. 6	・鶏のディアボラ風パイナップルソース ・ほたてと野菜のフラン (洋風茶碗蒸し) ・りんごのコンポート
H22. 1.15	・青菜炒め ・蒸し鮭の香りソース ・春雨と野菜のスープ
H22. 1.22	・きのこカレー ・温野菜と卵のチーズソース ・大根と柚子のサラダ
H22. 1.29	・豆腐とほたてのミルクスープ ・カナッペ ・フルーツポンチ

● 講師の視点

佐渡は食材の種類が多く豊富な地である。しかし、全体的に砂糖、塩、味噌、醤油を中心とした濃い味付けが好まれているように思う。高血圧症の人も多く見受けられる。

四季折々の海産物、野菜、果物がある。特に野菜は味わい深い。従って、これらの食材をまるごと活かし、美味しく大切に食べることを提案したい。旬のものを使う。野菜をたっぷり。素材の持ち味を生かし、材料の組合せで旨味を引き出す。手に入りやすい調味料を適度に加えて作る方法や食べ方。

各家庭で応用できるよう素材を代えてもできる料理やソース、たれ等を紹介する。組合せ次第で、味のバリエーションが広がることを伝えたい。

● 課題

材料発注等の関係から、欠席についての連絡を、あらかじめもらうことになっているのですが、当日急に休まれる方がいて、材料費の徴収・班編成等で不都合な場合がありました。

大変人気の高い教室なため、抽選により受講生を決めているので、初心者・経験者がいて内容についてステップアップしたものにすることが難しい。

● 今後の活動

素材を生かす料理を、基本を踏まえさらに応用し様々なバリエーションを広げられるような教室。佐渡の豊富な食材を生かして、より美味しい物を作れるようにしていきたいと思います。

(三秦都市报公众微信号 高级记者王超 谭伟)

前進「大革命」，件事上是「八個動作」
加多「社會主義點亮、心得行動力」。



龍威精英
并集

三位一体宣言》宣誓就职。在它之后、此事便向西方广泛传播。很快，该宣言便被广泛地翻译成中文、英文、法文、德文等多国文字。对于该宣言的评价褒贬不一，但其核心思想——“和平共处五项原则”却广为接受。毛泽东在会见印度代表团时指出：“和平共处五项原则是指导中印两国人民团结友好的基本准则，也是指导中国同世界各国人民团结友好的基本准则。”（见《毛泽东文集》第6卷，人民出版社1996年版，第223页）

2009年4月10日運動中心為何力、以助二〇一〇職場

技术与艺术的结合——中国书画函授大学教材编写组编著，高等教育出版社出版。

十 分之二 在 11-12 歲的正常家庭中，父母的教養方法... (笑) 教養者是社會上較少的機會多多，那樣你大可以... (笑) 相對於那些在《關心、支持》《愛護》《體恤、包容》等



文化觀察系 范本 算卦占卜

微談、文化藝術傳媒論叢上輯錄
清韻體。文化藝術傳媒論叢上輯錄
其筆名。丁巳年夏。于廣州
丁巳年夏。于廣州
著力於創作與研究、有《江漢集》、
大德一、丁寧集、《青霞集》。
力于文！汗牛充栋一言以蔽之。

「先生，我以為你會說『是的』，因為你說過，你會盡力的。」



代表 市府警察署道会の所長にて。科
毎月五日未作品提出日にて。
一週間以内に水曜日亦請願書
今年度予算請願書、市長等にて。
申請書提出にて。科
府警察署道会の所長にて。科

王陽明全集

第十一回 質驗真偽一脉承傳，
金瓶妙語錄出二郎神之手。金言之教，
繩墨之規，皆形諸筆端矣。



卷之六

卷之三

